

ガバナー月信

1st May
2014 Vol.11



ガバナーメッセージ（高潔性）

1、4月12日と13日に福岡でRI第2700地区の地区大会が開催されましたが、その時のRI会長代理はビチャイ・ラクタル元RI会長です。

素晴らしい講演をされましたので、穴井ガバナーから講演原稿を送って頂きました。

英文と日本語訳でしたが、タイの事例の紹介などもあり長文なのでエッセンスと思う部分を抜き出して本ガバナー月信に掲載させて頂きました。

2、昨年の規定審議会で採択された「子供の世話や配偶者のために仕事を中断したり、職業につかなかった人が正会員となれる」という条項は職業分類の原則から逸脱し、他の資格条件にも逸脱しているので個人的には賛成しかねるとされました。

そしてロータリーを他の団体と峻別するのが職業奉仕であり、職業奉仕はロータリーの心と強調し、「超我の奉仕」の理念でロータリアンが最善を尽くして奉仕することがロータリーを将来にわたって軌道に乗せ順調に進ませる最善で唯一の方法と信じてと述べて最近のRIの動向を批判しています。

更に最近職業奉仕が一層必要になったとし、特に誠実さと高潔さをリーダーにも求めておられました。

3、先月号に掲載した高柳ガバナーノミニの件はこの「高潔さ」のうち「誠実」や「正直」に関係します。

高柳氏は、8月13日にPETSに代わる補講を受けたのですから「クラブ会長を全期務めたことのある者」に一月半足りません。しかし、足りないのが「7日間」とRI理事会に申し出たこととこの不足日数についての虚偽でRI会長の許可〈免除〉をえたと分かっても許可されたことだけ利用して虚偽に一切触れない態度は誠実や正直とはかけ離れた行為ではないでしょうか？ 昨年10月の東松山RC例会で高柳氏は、「お盆の休みに真下ガバナーのところ一人でPETSに代わる教育を受けた」「会長は11カ月きり勤めていないので不適格だがRI理事会の了承をえてノミニに就任した」と述べておられました。

「会長は11カ月きり」という表現も不足日数を少なく感じさせる効果があります。

4、加藤ガバナーのとき高柳氏は次年度のガバナー補佐を受諾し、西川ガバナーが任命し、パストガバナーや歴代地区幹事など地区のリーダーはガバナー補佐として1年間

容認してこられたことになります。

ガバナー補佐の資格がなかったとの指摘に対しては反論や弁明はありません。

無資格のガバナー補佐に加えてガバナーノミニの資格条件についてRI会長の免除が虚偽の申告の結果と承知しておられる方々と高柳氏は「嘘も方便」といわれるのでしょうか？

5、ところでガバナーに対しては地区内の一定数のクラブが団結しなくても会員個人でもRI会長に解任を請求することができます。

本年度ある地区では地区分担金をめぐり紛争があり、一部のクラブが地区分担金を支払わないという事態になり、それが理由が分かりませんが、ガバナー解任請求が個人（クラブの決議ではなさそうです）からだされ、RIが受理してガバナーに弁明を求め、元RI理事を派遣するという事態になりました。

6、今回当地区には高柳氏の問題を告発した方以外にも高柳氏に自発的辞任を求める方がおられます。ガバナーが解任請求をしないように説得できる訳ではありませんから当地区は、2015年7月1日以後に爆発するようにセットされた、時限爆弾（ガバナー解任請求）をかかえたことになります。

7、坂本ガバナーエレクトもガバナーに就任された段階でロータリー章典違反が懸念され、それと別に地区分担金問題などが加わって辞任あるいは解任請求がでないとは限りません。

昨年度指名委員会は時限爆弾を抱える方を2名ガバナーノミニに指名されたことになります。これまでは指名の時期が遅いだけだったのですが、今回は大変困った事態です。

ガバナー補佐やガバナーノミニについての資格条件違反とRI理事会に虚偽の申告をして資格条件免除をえ、その後も誤りを認めない高柳氏の方が他地区の同期ガバナーより解任につながりやすいという気がします。

仏教の世界では「嘘も方便」が通っても「高潔さ」を重視するRIには通じないのではないのでしょうか？ それとも「寛容」「寛大」が勝ると期待しますか？

いずれにしても本ガバナー月信でビチャイ・ラクタル元RI会長の講演要旨をご覧のうえでご検討下さい。

RI 会長代理講演

RI 会長代理 ビチャイ・ラタクル元 RI 会長の講演（1 日目の要旨）

ロン・バートン RI 会長は、素晴らしい先見性と誠実さと品位とを備えた方であり、その方から指名を受け、ここに立ってお話するのを大変光栄に思います。

今年度が終わるまでに、もう残りが3ヶ月足らずです。この1年は、私達ロータリアンすべてにとり、大変満足できる年であったと思います。

私はロータリアンになって56年になります。60年以上時には70年以上もロータリアンである会員もいらっしゃるでしょう。しかし、しばしば疑問が湧いてきます。「なぜロータリーがあるのか?」「なぜロータリーに時間を使うのか?」と。

私は、自分の信念と経験により「ロータリーは人々のために役立っている」と言えます。これは、「良い事」の評価なのです。

ロータリーは、相互理解、交流、善意、平和、奉仕、に役立ち、人々の不足や苦難を和らげるのです。

最近、国際ロータリーからの要求がクラブ運営にとり重荷になりつつあると感じます。ガバナーに課せられる仕事、そしてガバナーを通してクラブに課せられる仕事は、殆どフルタイムの仕事に相当するほどです。

その結果、時間の制約により、会員間の友情が妨げられ、クラブへの出席が妨げられ、職業分類の原則の適用が妨げられたり、無視されたりする、そしてロータリー情報の不足が生じる、等々です。この事は、残念な結果をもたらしました。

さらに思うのですが、毎年多くの新しいプログラムや新しい重点事項が掲げられ、その結果RI事務局に次々に職員が増やされる。理事会や規定審議会により、新しい規則、規制、クラブが守るべき新しい型が作られる。

ロータリーは、今や巨大な官僚組織になりました。

最近の強調事項の一つは、「公共イメージの向上」です。

公共イメージコーディネーターまでありますが、そのコーディネーターが、どうやってロータリーに、良い印象を持ってもらう、ことが可能なのでしょうか?

私には全く理解できません。

会員をもっともっと増やしたい、そのために国際ロータリーは、長年にわたり、会員増強コーディネーターを置きました。このプログラムに多額の費用を使いましたが、数年後にはその全構想が崩壊しました。

私は、奉仕こそが良いイメージを与えうるものだと思います。

私達が何をするか、あるいは何をしないか、それによりロータリーが評価されるのです。もし私達が良く奉仕すれば人々から尊敬されるイメージが得られる。

奉仕は私達自身でなければならない。

慈善団体となることはロータリーの目的ではない。

奉仕とは、時間を作り、自分自身を与えることです。

だが、ロータリーのプログラムや種々の活動が、どんどん複雑で大規模になって行くと私達は、奉仕の精神を忘れて行くのです。

皆さん「超私の奉仕」の理念と精神に対する私達の献身を新たにしようではありませんか。最善を尽くして奉仕をする、そのことが将来に向かって、ロータリーを軌道にのせ、順調に進ませる、最善で唯一の方法だと信じます。

ビチャイ・ラタクル RI 元会長 講演（2 日目の要旨）

次年度のテーマ「ロータリーに輝きを」が発表されました。

新しいテーマがこの数カ月以内に勢いを増し、ロン・バートン会長のテーマである「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」が忘れられていくかもしれません。

各テーマの背後にある理由をどう考えようとも、ロータリーの唯一の目標は、常に「超我の奉仕」であり、私たちに課せられた使命は常に「世界で良いことをしよう」です。

昨年 4 月の規定審議会については、私個人としては賛成しかねる事があります。

それは規定審議会で採択された、ロータリーの会員資格に関する件です。

つまり、職業を中断したり、あるいは子供の世話や配偶者の仕事を手助けするため一度も職業につかなかった人が、ロータリークラブの正会員になることが出来る、という条項です。これは、職業分類の原則から、完全に逸脱しているし、他の資格条件からも逸脱しています。

会員資格についてのロータリーの傾向は、ただ会員を増やすことだけを目標にしている。

そしてロータリーの基本的な原則を全く排除してしまう、そういう方向に進んでいるように思えます。

ロータリーの重要な要素の一つは、職業奉仕です。我々は、他の組織がやっていない事をしている。

職業奉仕は、ロータリーを、他のいかなる組織からも峻別しているのです。ロータリーの職業分類は、非常にユニークなものであり、世界的に、「ロータリーのトレードマーク」だと、認められています。

職業奉仕は、職業上の高い倫理水準を思い起こさせ、責任感を感じさせます。

ロータリーの職業奉仕以上に、ベターで、より洗練された概念が他の組織にあるでしょうか？

世界の多くの地域で、職業奉仕は、魅力的ではないように見えるかもしれません。しかし私の考えでは、世界的により一層必要になってきています。

特にリーダーは、最高に正直で公正に事をなすのが非常に大切なのです。

今日の世界では、会社や時には政府でさえ、生存をかけて苦闘しています。

リーダーたちは、最も良い数値を示すよう、プレッシャーを感じ、倫理面をおろそかにする誘惑にかられるかもしれません。

近年、倫理的でないビジネスをしている会社は、スキャンダルにまみれ、結局没落するのです。同様に、誠実でなく、高潔性を持たないリーダー達は、一生の汚名を受けるでしょう。

ロータリーでは、高潔性は、正直、忠誠、寛大、信頼など複数の原則の上に成り立っていて、それに従えば、最高のモラルを維持する事になります。

しばらく立ち止まり、自分自身に質問して下さい。

「職業奉仕の正しい方向に、我々は進んでいるだろうか？」

「クラブで、あるいは地域社会で職業奉仕を実践し、ロータリーを尊敬される存在にしているだろうか？」

職業奉仕は、本当に、ロータリーの心であり、“たましい” なのです。

パブリックコメントを求める事項

2014年4月 地区戦略計画委員長

- 1、地区の会員数（会員増強目標）を次年度末1916人とする案
- 2、地区賦課金の適正額 ①現行（年2万円） ②従前の2万8200円
 ③新規（年1万6000円または年 円）
- 3、2016年の規定審議会への立法案の賛否
（地区が提案・承認できるのは5件までです。ご意見を伺うため多数列举します。）
 - ① RIの人頭分担金を据え置くこと（毎年1ドルの値上げに反対）
 - ② 規定審議会の経費減額を求めること（例えば毎年1ドルを半額にするか規定審議会開催年度のみ1ドル負担とするなど。現行経費は毎回約3億6000万円）
 - ③ 2013年規定審議会で採択された「配偶者や子供のため仕事を中断した人や仕事をしなかった人を会員と認める規定」の廃止
 - ④ 2013年規定審議会で否決された「専業主婦を会員と認める」案の再提出
 - ⑤ 前同「2年間会員が25人以下のクラブはガバナーが合併させる」
 - ⑥ 前同「ガバナーノミニーは地区の平均会員数より多いクラブしか選出できない」
 - ⑦ 前同「会員数が25人未満のクラブは地区大会での投票権を与えない」
 - ⑧ 前同「例会出席率の報告を不要とする」
 - ⑨ 前同「例会取り消しや変更をクラブ理事会は何回でも自由にできる」
 - ⑩ 前同「RIの定款細則に違反しない限りクラブの自主性を認める」
 - ⑪ 前同「クラブへの入会金を廃止する」
 - ⑫ 会員が20人未満のクラブは合併するべきだとのRI理事会決議の廃止
 - ⑬ 地区大会は本会議を9時間以上するべきという規定の緩和

回答欄

F A X先 04-2923-9935 メール 2013g@snw.co.jp
 クラブ名 お名前 (匿名) ()
 ローターリー歴 (5年未満・5年～10年・11年以上) 性別 (男・女)

1 の設問 賛成 反対 適当と思う目標人数 (人)

2 の設問 地区賦課金は年 2 万円、2 万 8 2 0 0 円、1 万 6 0 0 0 円、
円が適正

3の①から⑬のうち、賛成の番号
反対の番号
ご意見（上記以外のご提案を含む）

パブコメの中間報告（その2）

2014年4月17日

2013－14年度ガバナー中井眞一郎

「パブリックコメントを求める事項」

（以下パブコメと略します）を新設の地区戦略計画委員会の委員長として作成し、各クラブ事務局に全会員にご配布頂くことをお願いしました。

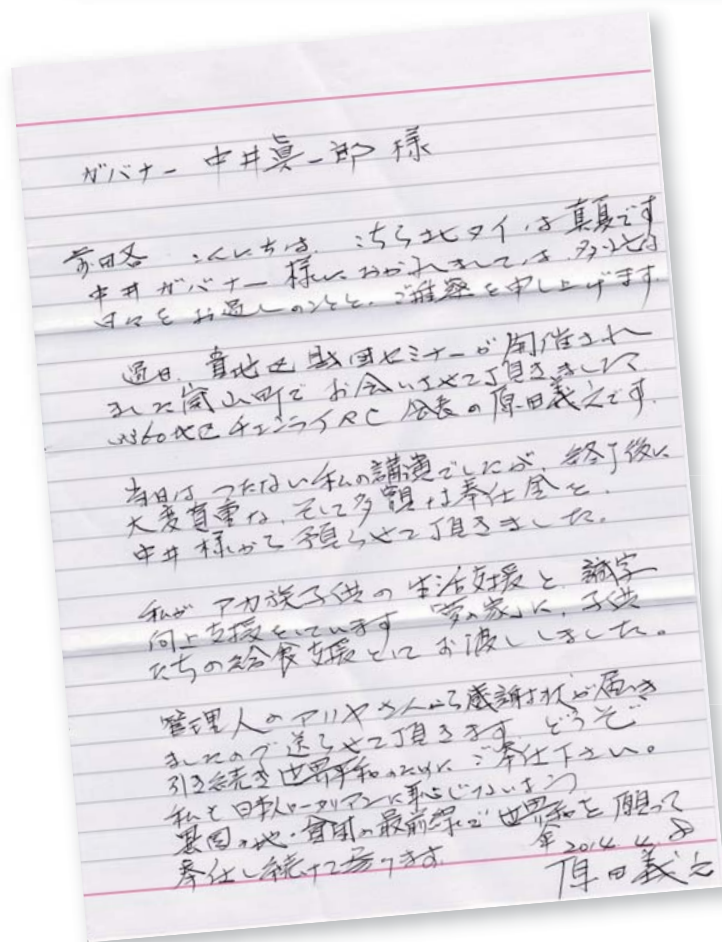
- 1、本日現在のご回答は104通です。（パブコメ用紙ではないご意見は除きました。）
- 2、当地区の会員増強目標は今年3月19日東京で行われたゾーンの会員増強セミナーで2015年6月30日に1916人と発表されました。この算出根拠が分からないという質問がありました。各クラブの事業計画書に記載された増強目標人数を本年度の開始早々に集計したところ地区全体で純増106人でした。坂本ガバナーエレクトは次年度純増目標を100人とRIに報告しました。RIは報告を受けた時の地区会員数（1710人）に2年分206人を加えて1916人としたものと推測しています。現実とかけ離れているから1800人が適正、いや2000人が適正、純増4人を各クラブが目指すべき（地区全体では208人純増になります）というご意見がありました。詳しい分析は追って行い、ご報告します。
- 3、地区賦課金（分担金）については、現行の年額2万円を適正とする方が過半数です。
28200円案は5人、2万4000円1人、2万円60人、1万6000円24人、1万5000円1人、1万2000円1人、1万円3人、無回答8人です。
2万8200円未満が適正という方が1人おられ、2万円より増額でも0円でもよいということになりそうですが、この方を増額容認に加えても現行の2万円より増額に賛成者は7人であり、パブコメ回答者104人の1割になりません。現行の2万円より減額とのご意見が約3割です。従って、9割以上の方が値上げ反対です。
ロータリーの友2月号の記事によれば、地区分担金が年53ドル以下の地区が世界の大半であり、世界の常識は地区分担金 年額1万円以下ということになりそうです。
- 4、規定審議会への立法案についてのご意見も多数いただきました。これから精査します。

以上

地区戦略計画委員会規約

- 第 1 条** 当委員会は、当地区の中長期目標の策定、当地区の問題点の調査、地区活性化とクラブ支援策の検討、規定審議会対策を含めて RI への提言・要望のとりまとめ、その他ガバナーの諮問事項について協議する。
- 第 2 条** 当委員会の委員長はガバナーが務め、委員長以外の委員は次の 3 通りとする。
- 1 号委員 ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ガバナーノミニーデジグネート
- 2 号委員 規定審議会代表議員と補欠議員（任期は選出後規定審議会終了日まで）
- 3 号委員 現・元地区役員と現・元クラブ会長のうちガバナーが指名したもの
- 第 3 条** 地区幹事は会議の司会および書記（議事録作成を含む）を務めるが、議案に関して発言権や議決権を有しない。
- 第 4 条** ガバナーは、随時委員の私案や委員会の中間意見（委員会が公開を禁止した場合を除く）を地区内の会員にメールなどで公表して会員の意見（パブリックコメントという）を広く聞くことができる。
- 第 5 条** 委員の任期は 6 月 30 日までとする。但し、再任を妨げない。
- 第 6 条** 上記に定めのない事項は委員長が決定する。
- 第 7 条** 本規約は平成 26 年 4 月 1 日施行とする。

RI 第 3360 地区 タイ国チェンライ RC 会長原田義之様より



新入会員紹介



谷田 浩二
秩父 RC



西澤 克己
鶴ヶ島 RC



内藤 康晴
本庄 RC



横溝 隆一
川越 RC



有山 幸雄
狭山中央 RC



中山 剛
熊谷 RC

R 財団表彰



岩崎 茂
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



山根 宏夫
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



関根 靖郎
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



中澤 孝芳
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



荒井 正武
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



齋藤 栄作
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間 RC



忽滑谷 明
ポール・ハリス・
フェロー
入間 RC



澤田 寿一
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間南 RC



大野 快三
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間南 RC



不破 隆夫
マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー
入間南 RC



油井 一
ポール・ハリス・
フェロー
入間南 RC



鈴木 勝裕
ポール・ハリス・
フェロー
入間南 RC



木暮 亨
メジャードナー
深谷東 RC



武田 哲
メジャードナー
深谷東 RC



長谷部 茂
ポール・ハリス・
フェロー
深谷東 RC



真下 和男
メジャードナー
東松山 RC

米 山 財 団 表 彰



真下 和男

米山功労者
マルチプル
東松山 RC



葭田 秀夫

米山功労者
メジャードナー
秩父 RC

2013-2014 年度ガバナー 中井 真一郎

国際ロータリー第 2570 地区 地区事務所

〒335-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2 丁目 5 番地 14 号 紫雲閣 3F

TEL.(0493)21-2570

E-mail=d-office@mail.rid2570.gr.jp

FAX.(0493)21-2571

Website=<http://www.rid2570.gr.jp>